

2022年10月31日

県内景況

株式会社 鹿児島銀行
株式会社 九州経済研究所

最近の県内景況は、観光関連が持ち直し、消費関連が緩やかに持ち直し、投資関連がやや持ち直している。一方、生産活動が一部で堅調、雇用情勢は横ばい、畜産関連が弱含んでいる。海外情勢や急激な円安などの影響で先行き不透明感はあるものの、足元ではコロナ第7波がピークアウトし、社会経済活動の再開の動きも本格化しつつあり、全体として回復傾向が続いている。

生産活動は、7月の鉱工業生産指数が4か月ぶりに前年を下回った。窯業・土石製品、電子部品・デバイスでは前年を上回ったものの、食料品は前年を下回った。

畜産関連では、9月の肉用牛（和牛）枝肉価格は、去勢A4は前年並みで、去勢A3は前年を下回った。一方、豚肉、ブロイラーもも肉、むね肉、鶏卵相場のいずれも前年を上回った。

個人消費関連は、8月の家電大型専門店販売額は前年を下回ったものの、百貨店・スーパー、ドラッグストア、コンビニエンスストア販売額や乗用車新車登録台数、軽自動車届出台数は前年を上回った。

観光関連では、9月の主要ホテル・旅館宿泊客数(鹿児島・霧島・指宿地区)は、10か月連続で前年を上回り、主要観光施設入場者数は、ほとんどの調査対象施設で前年を上回った。

投資関連では、公共工事請負金額、民間建築工事費予定額、新設住宅着工戸数のいずれも前年を上回った。

雇用情勢は、8月の有効求人倍率は前月を0.04ポイント下回る1.34倍となった。

【生産活動】... 一部で堅調

電子部品関連は、半導体需要が高まり、スマホや5G関連が好調に推移しているものの、一部で在庫調整の動きがみられる。また、海外情勢の影響で、先行きに不透明感がある。

8月の焼酎生産は2か月ぶりに前年を上回り、出荷量は2か月連続で前年を下回った。

7月のかつお節生産は、2か月ぶりに前年を下回った。

9月の生コン生産（出荷量）は、公共工事向けが8か月連続で前年を下回り、民間工事向けは2か月ぶりに前年を下回り、全体では25.0%減と2か月ぶりに前年を下回った。

9月の紙パルプ生産は、4か月連続で前年を下回った。

木材関係は、製品相場がスギ、ヒノキ共に前年を下回った。

【畜産関連】... 弱含み

9月の子牛の出荷頭数、価格は共に前年を下回った。9月の肉用牛（和牛）の枝肉価格は去勢A4は前年並みで、去勢A3は4か月ぶりに前年を下回った。8月の枝肉生産量は前年を上回った。

9月の豚肉相場は5か月連続で前年を上回った。8月の枝肉生産量は前年を下回った。

9月のプロイラー相場は、もも肉は3か月連続で前年を上回り、むね肉は32か月連続で前年を上回った。9月の処理羽数はほぼ前年並みとなった。

9月の鶏卵相場は前年を上回った。8月の配合飼料価格は前年を上回った。

【消費関連】... 緩やかに持ち直し

8月の百貨店・スーパー販売は衣料品、飲食料品が前年を上回り、全体では11か月連続で前年を上回った。

8月の専門量販店販売額は、家電大型専門店は前年を下回ったものの、ドラッグストア、コンビニエンスストアは前年を上回った。

9月の乗用車新車登録台数は、13か月ぶりに前年を上回った。車種別にみると、普通車は2.6%減、小型車が31.4%増となった。

9月の軽自動車届出台数は16か月ぶりに前年を上回った。

乗用車・軽自動車共に前年を上回ったものの、半導体不足や部品供給減少などによる供給制約は続いている。

【観光関連】... 持ち直し

9月の主要ホテル・旅館宿泊客数(鹿児島・霧島・指宿地区)は、県民割・ブロック割効果などにより、九州、関東、関西などからの入り込みや個人客、団体客が共に増加し、10か月連続で前年を上回った。

鹿児島地区は、九州、関東、関西などからの入り込みや個人客、団体客が増加し、11か月連続で前年を上回った。

霧島地区は、九州、関東、関西からの入り込みや個人客、団体客が共に増加し、11か月連続で前年を上回った。

指宿地区は、九州、関東、関西からの入り込みや個人客、団体客が共に増加し、9か月連続で前年を上回った。

種子島・屋久島地区は、9か月連続で前年を上回り、奄美地区^注は7か月連続で前年を上回った。

9月の主要観光施設入場者数は、ほとんどの調査対象施設で前年を上回った。

【投資関連】... やや持ち直し

9月の公共工事は、件数、請負金額共に前年を上回った。

8月の民間建築工事着工は、棟数は前年を下回ったものの、床面積、工事費予定額は前年を上回った。

8月の新設住宅着工戸数は、持家は前年を下回ったものの、貸家、分譲が前年を上回り、全体では4か月ぶりに前年を上回った。新設住宅着工戸数の合計の3か月移動平均は前年を下回り、1.6%減となった。

8月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、4か月連続で前年を上回った。

注 奄美地区は新型コロナ療養施設を除く

【貿易関連】 ... 輸出額は前年を下回った一方、輸入額は前年を上回った

8月の**輸出額**は、パルプ及び古紙、ゴムタイヤ及びチューブ、食料品及び動物、木材が前年を上回ったものの、再輸出品が大幅に前年を下回り、全体では89.7%減と6か月ぶりに前年を下回った。**輸入額**は、原油及び粗油、穀物及び同調製品が前年を上回り、全体で31.4%増と17か月連続で前年を上回った。

【雇用情勢】 ... 横ばい

8月の**有効求人倍率**は前月を0.04ポイント下回る1.34倍となった。県内求人数を業種別にみると、更新時期のずれ等で製造業が前年を下回ったものの、建設業、卸売業・小売業、医療・福祉は前年を上回った。

【金融情勢】 ... 貸出金残高は前年を上回った

8月の県内金融機関の**貸出金残高**は前年を1.5%上回った。

【企業倒産】 ... 倒産件数は前年を上回った

9月の**企業倒産**（負債額1,000万円以上）は、件数が7件で前年同月（1件）を上回った。また**負債総額**は15億60百万円で前年同月（4億83百万円）を上回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 (株)九州経済研究所 (TEL 099-225-7491)